

1万4000人快走

2013おきなわマラソン

男子鬼塚、女子佐々木V

【沖縄】2013おきなわマラソン(主催・中部広域市町村圏事務組合、琉球新報社、沖縄テレビ放送、沖縄陸上競技協会、県総合運動公園指定管理者トラステック、共催・県教育委員会、県高等学校体育連盟、特別協賛・イオンモール、NTTドコモ、オリオンビール、沖縄コカ・コーラボトリング)が17日、沖縄市の県総合運動公園を発着点に開催された。大会には過去最高となる1万6816人(フルマラソン1万3647人、10キロロードレース3169人)がエントリー。速報値で1万4233人が出走した。



フルマラソントップでゴールする鬼塚智徳=17日午前、沖縄市の県総合運動公園陸上競技場

青空が広がった大会当日。東門美津子大会実行委員長(沖縄市長)が大会は中部圏域住民が一体となって取り組んでいる。皆さんに感動、喜び、友情が広がり、中部が元気になることを期待している」と激励。号砲でランナーは一斉にスタート、爽やかな表情で中部路

を走り抜けた。沿道ではランナーに配布する菓子や果物、水などを手にした住民や地元企業、ボランティアたちが声援を送り、パフォーマンスで走りの後押しした。競技マラソンは、男子が佐賀県から出場した鬼塚智徳(32)＝九電工佐賀支

店Ⅱが2時間23分58秒で、女子は東京都の佐々木寿子(43)が3時間3分35秒でそれぞれ初優勝した。10キロロードレースは、一般男子が宜野湾市の渡嘉敷宗士(20)が32分26秒で優勝。一般女子は沖縄市の津波古美月(20)が38分31秒でトップだった。



一斉にスタートするフルマラソン参加者=17日午前9時5分、沖縄市の県総合運動公園

号砲とともに勢いよく走りだす10キロロードレースの参加者ら＝17日午前、沖縄市の県総合運動公園スタート地点



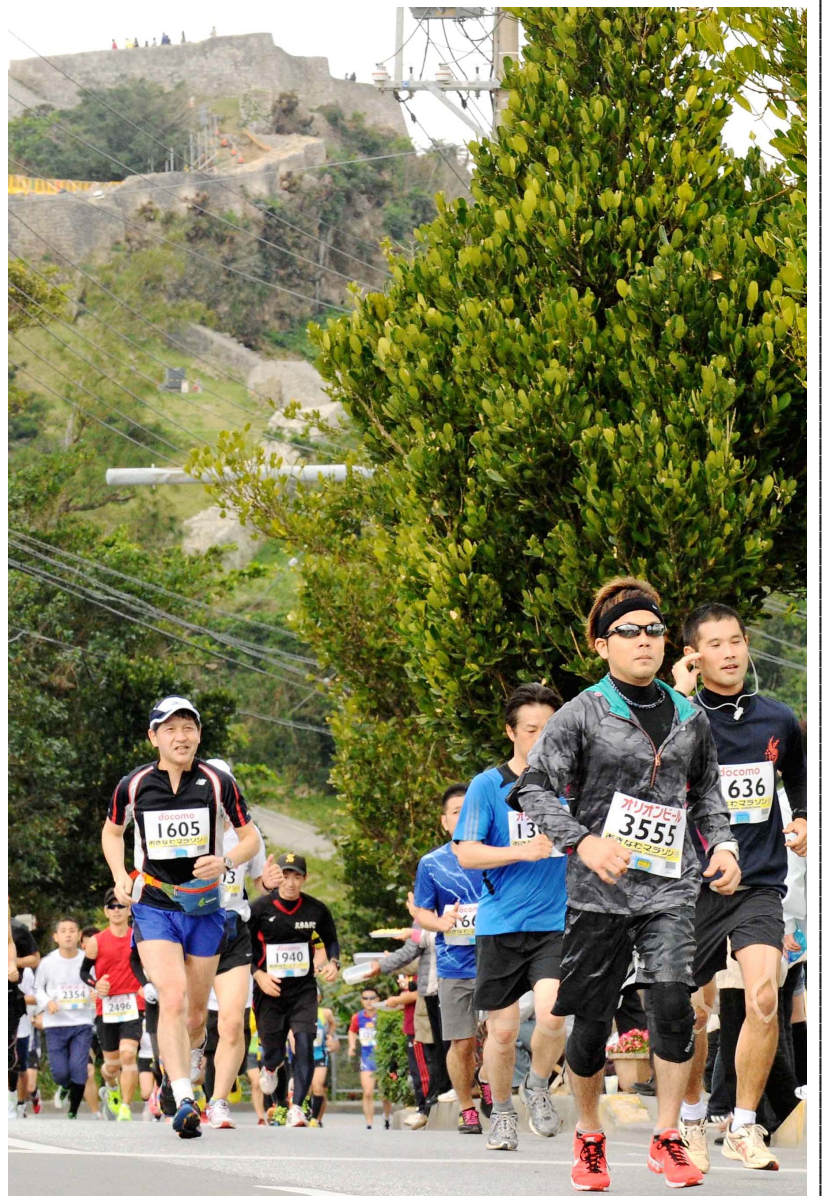
「頑張て」とトップを手渡す給水ボランティア＝17日午前、うるま市の前原高校近く



パフォーマンスでランナーを励ます「現代版組踊・肝高の阿麻和利」のメンバー＝17日午前、うるま市の勝連城跡前

2013おきなわマラソン

中部路、爽やかラン



世界遺産の勝連城跡を背景に走り抜けるランナーたち＝17日午前、うるま市勝連

楽しげにスタートを切る10キロロードレースの参加者ら＝17日午前、沖縄市の県総合運動公園スタート地点



マラソン開始前に準備体操で体をほぐす参加者＝17日午前、沖縄市の県総合運動公園